

小学校三年

チャレンジ 話すこと・聞くこと

この音声問題は、第三学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、小学校三年国語「話すこと・聞くこと」にチャレンジしましょう。
今から一回だけ、問題を放送します。よく聞いて、あとの問題に答えてください。問題用紙は開かないでください。聞いていて大切だと思うことは、表紙のあいているところにメモをしてもかまいません。

ゆみ子さんの学級では、総合的な学習の時間にさつまいもを育てました。そのときのことを、三年生の発表会で地域の方や他のグループの人に伝えていきます。次はゆみ子さんの番です。あなたも発表会に参加しているつもりで聞きましょう。

ゆみ子

わたしは、さつまいもづくりで一番心に残っていることを発表します。それは、近所の農家の田中さんと一緒に、さつまいもを植えるための「うね」を作ったことです。そのわけは、うねを作るときの田中さんのくわの使い方がとても上手で、田中さんのことを「うね作りの名人」だと思ったからです。

この写真を見てください。これがうねです。くわで畑の土をすくい上げて、三十センチメートルぐらいの高さに盛り上げます。わたしはくわで土をすくうことはできましたが、写真のように真っ直ぐに長く、土を盛り上げることはできませんでした。わたしが「すごい。どうしてそんなにうまくできるのですか。」とたずねると、田中さんは「何十年も、畑を耕してるからねえ。くわを自分の手のように動かせるからだよ。」と笑顔で話されました。わたしも田中さんのまねをしてやってみましたが、思うようにできません。わたしが困っていると「こうするんだよ。」と言って、田中さんが自分の手をそえて教えてくれました。田中さんの手は大きくて、ごつごつしていました。何十年もうね作りをした手なんだなあと思いました。うねができると、田中さんは「これで、苗を植えるための大切な準備ができたね。大変だけど、こうやってうねを作るとさつまいもがよく育つんだよ。」と話してくださいました。

できたさつまいもを食べてみると、本当においしかったです。わたしは、おいしいさつまいもができるまでには、田中さんのような農家の人たちのいろいろな工夫や努力があるんだなあと思いました。

これで発表を終わります。

放送はこれで終わりです。

それでは、問題用紙を開いて始めてください。